

19期 奥田工業株式会社 奥田社長様を訪ねて

■ 工場見学会

今回の工場見学は、39年連続製造品出荷額NO.1の愛知県を、地域に根付いた「ものづくり」でしっかりと支えている奥田工業(株)様(東海地区有数のダイカストメーカー)に、会員16名の参加にてお邪魔しました。

創業は、先代の会長が旋盤1台で始められたとのこと。未だにその記念すべき(骨董品)機械である旋盤が、工場内に飾ってあります。奥田社長は、こういった古い「何か」を大切にしつつ、現在では超精密ダイカストに取り組み、驚くほどの軽量化に成功されました。常識を越える軽量化(ダイカスト製品の薄肉化)は顧客からの要望ではなく、自らの技術をPRすべく社内で自主的に取り組まれた結果だそうです。奥田工業(株)様を支えるのは、こういった「ものづくり」に対する意気込みというか自負ではないかと、参加者一同非常に感銘を受けました。また、社員の皆様から様々な改善活動をご説明いただき、やはり本当に生きている現場だと確信しました。

最後に、先代のご趣味とお聞きしましたが、工場内に様々な美術品が飾られており、堅い雰囲気が多い工場の中で、ここだけ穏やかな風が吹いていると感じ入りました。(21期 原 敏城)



■ 懇親会

工場見学会が滞りなく終了した後、場所を名鉄新安城駅近くの料亭「白雪」に移し、奥田様を含め15名の参加にて懇談会を開催致しました。

界限では大変有名なお店だそうで、新鮮なお魚や旬な食材を使った料理に参加者は大変満足し、会員相互の情報交換、交流にと大いに盛り上がりました。(29期 深井 昇)

